

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	健康福祉部
	04004-1	母子保健事業	室名	健康推進室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 衛生費
	施策の方向	01:保健サービスの充実	科	項 保健衛生費
戦略プロジェクト		目	目 保健衛生総務費	

② 目的・概要	対象	市民(妊婦・乳幼児等)
	目的・概要	母子保健法及び児童福祉法に基づき、母子の健康の維持及び増進と異常の早期発見のため、母子健康手帳の交付、母子保健教室、妊婦健康診査、赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査、育児相談等の各事業を行う。

		24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称 母子保健教室の開催回数	計画値		
		補足 妊婦教室・パパママ教室・離乳食教室の開催回数	実績値	14	14
			単位	回	回
	成果	② 名称	計画値		
		補足	実績値		
			単位		
① 補足	名称 母子保健教室の参加人数	計画値			
	補足 妊婦教室(人)・パパママ教室(組)・離乳食教室(人)の開催回数	実績値	130	116	
		単位	人	人	

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績					母子保健教室等を開催し、育児に関する情報提供や相談が出来る場を提供し、保護者の育児不安や負担感の軽減を図った。 母子保健教室等の参加人数 ・母子健康手帳交付:467人(日本語441件、外国語26件)※再発行除く ・妊婦教室(月4回):13人 ・パパママ教室(月4回):31組 ・離乳食教室(年6回):84人 乳幼児健診受診者人数()は受診率 ・4か月児健康診査:474人(97.9%) ・10か月児健康診査:470人(96.9%) ・1歳6か月児健康診査(年12回):456人(99.8%) ・3歳児健康診査(年12回):504人(98.6%)		
		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	11,843	
	事業費		18,326	17,457	一般職員人件費 ②	11,843	平均給与額×③
	国庫支出金	720	720		所要人員 ③	1.60	
	県支出金	860	860		臨時職員人件費 ④		
	地方債				受益者負担額 ⑤		
	その他		434	434	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源		16,312	15,443			
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
	総人件費		①	11,843			
	総コスト		⑥	29,300			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	母子健康手帳の交付については、ケースに直接会える貴重な機会と捉え、保健師が窓口対応しており、新たに作成したリーフレットを用いて、教室や訪問、健康診査の流れ等の説明を丁寧に行った。また、妊婦届出時アンケートで把握した「若年、未入籍、メンタル疾患の既往歴有り等」のハイリスク妊婦については、電話や母子保健教室、赤ちゃん訪問など、あらゆる場面で継続したフォローを行った。このような取組みや、節目毎の個人通知を行うことで、乳幼児健康診査の受診率を95%以上に保つことができ、母子の健康の維持・増進、異常の早期発見につながられた。	総合判定
	【反省点・課題】	乳幼児健康診査については、全ての健康診査で95%以上の受診率を維持しているものの、数名であるが未受診のケースがあることから、今後も、未受診理由や居場所確認等の全数把握が必要である。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	乳幼児健康診査の未受診ケースについては、その理由を確認する中で問題を洗い出し、また、居場所確認等が必要なケースについては、子ども支援室と連携しながら状況を把握することに努める。	

事業目的の妥当性: 適切 | 有効性: 適切 | 最終評価確認者: 健康推進室長 駒谷 みどり